栗山町まちづくり100人委員会の提言に対する

回 答 書

平成23年4月12日

栗 山 町

はじめに

栗山町まちづくり100人委員会の委員の皆様におかれましては、2年目の活動となる今年度、1年目に協議されていたテーマについて、さらに協議を深められ、このたび提言としてまとめていただきましたことに対し、厚く御礼申し上げます。

また、2年目の活動にあたり、参加委員の入退会の異動があり、今後の委員会の進め方についても議論を重ねられたということをお聞きしましたが、さらに100人委員会が発展されていく過程として、大変重要な議論であったものと察するところであります。

町といたしましても、多くの町民の声をまちづくりに反映させる町民皆さんの会として、今後のさらなる活動にご期待申し上げるとともに、引き続き良きパートナーとして連携、協力し、まちづくりを共に進めてまいりたいと考えています。

さて、今回、ご提言いただきました地域医療の問題につきましては、町といたしましても最重要課題として、昨年4月から地域医療・保健対策室を設置し、取り組んでいるところでございます。

ご提言いただきました主旨を十分に踏まえ、以下のとおり回答いたします。

平成23年4月12日

栗山町長 椿原紀昭

提 言

「地域医療の安定的確保」に向けた取り組みの推進について

回 答

本町の第5次総合計画において、“町民が安心して医療が受けられるように、関係機関と連携を図り、持続可能な地域医療体制づくりを進めます”という基本目標を掲げ、その実現に向け取り組んでいるところですが、引き続き一層の推進を図ってまいります。

以下、ご提言の重点事項に対する町の考え方について、ご説明いたします。

特定健康診査につきましては、生活習慣病が重症化すると心疾患や脳卒中などの発症に至る経緯をたどるということから、定期的な特定健康診査により、必要な方への特定保健指導を行うことが、きわめて重要であると考えているところであります。これまでも受診券を直接お渡しするために個別訪問を行ったり、特定健診の理解を深めていただくために35歳～39歳の方も受診できるようにするなど、受診率向上に向けた取組を行ってまいりましたが、ご提言のありました効果的な啓発活動の推進や各医療機関との連携強化などさらなる取り組みを進めてまいりたいと考えています。

また、平成22年度より「くりやま医療セミナー」や「くりやま健康づくりサロン」を開催し、町民の健康づくりや予防医療の意識高揚を図るとともに、健康づくり推進協議会が行う健康づくりイベントなどの活動を支援し、町民の皆さんが身近に取り組める健康づくりを推進してまいります。

次にご提言のありました町民の受診動向についての町の考え方ではありますが、まず1点目の救急医療への対応比率については、平成21年度の町内での完結率は56%で、周辺1市4町では一番高い状況にあり、ある程度の対応はなされていると考えています。

2点目の外来の町内受療率が72%という状況についても一定の評価ができる受療状況と考えていますが、お年寄りの方が身近な医療機関にかかることができるよう、今後も引き続き地域医療体制の維持が必要と考えています。

3点目の町内の入院率については5割を下回っている状況ではありますが、現状における町内の医療体制の中では妥当な数値と考えますが、町内の医療体制で対応できる範囲、又、町外に委ねる高度医療の範囲について、今後更に分析を続け、情報提供してまいります。

今後において、現状の体制や状況を維持するための町内医療機関の連携強化を図るとと

もに、平成22年度より行っています南空知南部地域（1市4町）による協議、さらには平成23年度から行っていきます2次医療圏域レベルの協議により、広域的な医療連携体制を構築し、安心して医療が受けられる体制づくりを進めてまいりたいと考えています。

現在、町では超高齢社会に対応した“包括ケア体制（保健・医療・福祉・介護の連携）”の構築を目指しており、地域医療の方向性をまとめるため、地域医療対策委員会や栗山赤十字病院あり方検討会などを設置し協議しています。今年の秋頃を目処にまとめる予定で、まとめ次第、町民の皆さんにお示ししたいと考えています。

また、平成22年度に設置しました地域医療・保健対策室が取り組んでいる内容などについて、町広報を含め、様々な機会を通じて、創意工夫のうえ情報発信してまいります。